



～お知らせ～

入梅前の12日(月)に新潟市内で本支店の社員全員が集まり用地補償検討会を開催しました。検討課題は、「入札参加要件」、「今年度の業務概要」、「民法等の一部改正」、また、若手社員を対象に「北陸の地域づくりを担うには」、「補償コンサルタント業務」など多方面にわたって課題の検討を行いました。コロナ禍が沈静化し観光地等に賑わいが戻って来ましたが、補償コン業界を取り巻く状況は、未だに右肩下がりとなっています。このような中で補償業務の専門家集団としての当社の役割などについても議論しました。



用地補償検討会に先立ち金沢支店の 角 用地補償課長に永年勤続表彰が送られました。健康に留意され更なるご活躍を祈念申し上げます。

ご挨拶



平成25年4月に入社して早10年が経過しました。私が配属された金沢支店は当時、私の前の職場(北陸建設弘済会金沢支店)の1部屋を間借りして、支店長と私の2名で業務を行っていました。当時は前の職場の人達と毎日顔をあわせることもあり、私はどちらの会社の人間なのかとも思っていました。実際の業務の方では、Cadを使えなかったこともあり、シックハックしたのを覚えています。その後は平成28年5月に今の金沢市入江に移転し、職員も3人となり、現在は4人で総合技術、点検、境界標設置、多数権利者などの業務を行っており、入社した当時とは金沢支店の職場環境は随分良くなりました。10年は、あっという間でしたが、10年勤められたのは、諸先輩方や同僚等のご指導ご協力があったからこそで、感謝の一言しかありません。この場を借りてお礼申し上げます。最後に次の20年30年に向けて精進してまいりますので引き続き、ご指導ご協力をお願い申し上げます。

金沢支店 用地補償課長 角 健一さん より

今回の用地補償検討会における「民法等の一部改正」のポイント

今回は、法務省民事局がインターネットで公表している「民法等一部改正法・相続土地国庫帰属法の概要」のカット版をベースに用地補償検討会を実施しました。その中でも本年4月1日に施行された「土地・建物等の利用に関する民法の見直し(利用の円滑化)」の内、①財産管理制度の見直し、②共有制度の見直し、④相続制度の見直しを中心に実施しました。多数権利者業務等で相続が絡んだ業務の場合に、知っておくべき内容が盛りだくさんな改正となっています。今後も、詳細な内容が公表されたり、公共用地交渉時に相手方から問い合わせがあった場合には、折りに触れ用地検討会等で議論していく内容であると思われま。 [001396635.pdf \(moj.go.jp\)](https://www.moj.go.jp/001396635.pdf)

また、令和6年4月1日施行の「相続登記の申請義務化」に関して、相続が絡む公共用地取得時に話題になることを念頭に理解を深めておくことが必要との認識で一致しました。(本社：渡邊補償部長)

6月になりました。6月と言えば「ジュンブライド」!

「6月の花嫁」「6月の結婚」を意味する「ジュンブライド(June Bride)」は、多くの女性が憧れる結婚式として有名です。6月に結婚式を挙げると一生涯にわたって幸せな結婚生活を送ることができると言われてはいますが、その由来を知っていますか?

ジュンブライドの由来をHPで調べてみました。

6月の結婚式「ジュンブライド」の由来

日本の6月は、梅雨の時期です。暖かい季節ではありますが、雨が多いため結婚式に適した月とは言えません。そのため、戦後にジュンブライドが広まるまで、6月に結婚式を挙げるカップルは少なかったようです。しかし、ジュンブライドが広がった現在の日本では、ジュンブライドに憧れ6月の挙式を希望するカップルが増えています。では、6月に結婚式を挙げる「ジュンブライド」にはどのような意味があるのかジュンブライドの起源であるヨーロッパの3つの説を紹介します。

ローマ神話の女神を由来とする説

ローマ神話の主神・ユピテルの妻である女神ユノは結婚や出産、育児の象徴とされており、女性や子供、家庭の守護神とも言われています。ローマ神話では1月から6月まで、それぞれの月を守る神がいます。結婚の象徴であるユノが守っている月が6月です。6月は英語でJune、ユノはアルファベットでJunoと書きます。このことから、ユノが6月の英語名ジュンの由来になっていることが分かります。「6月に結婚すると幸せな結婚生活を送ることができる」と言われる理由は結婚の女神ユノが6月を守護していることに由来しています。

6月は結婚が解禁になる月だったという説

かつてヨーロッパでは3月～5月の3ヶ月間は農作業が大変忙しくなる時期でした。そのため、3月～5月の3ヶ月間は結婚が禁止されていました。結婚が解禁される月が6月であったため、結婚を待ちわびていた多くのカップルが結婚式を挙げたことをジュンブライドの由来とする説です。6月は農作業が落ち着き、多くの人から祝福されるため幸せになれる、と言われてはいます。しかし、いつ頃のヨーロッパの話か分からず、本当に結婚式が禁止されていたのかも定かではありません。

6月の気候・時季が結婚式に最適な説

ヨーロッパでは、6月は1年間で最も雨が少なく、天気の良い日が多い時季にあたります。天気にも恵まれ多くの人に祝福してもらえることから、6月に結婚式を挙げると幸せな結婚生活を送ることができるだろうという説が生まれました。

いずれの説にしろ孫の結婚式が待ち遠しいお爺ちゃんでした

暑い夏が近づいてます!
しっかり体力・気力を養ってください!



「ウィークリースタンスの徹底を」お願いします

- ① 昼休みや16時以降開始の打合せは行わない
- ② 休日明け日(月曜日等)は依頼の期限日としない
- ③ 休前日(金曜日)は新たな依頼をしない
- ④ ノー残業デー(水曜日)は勤務時間外の依頼はしない



〇必見! [ホームページをリニューアルしました!](#) 新たな情報等があれば教えて下さい

www.hokurikuyouchi.co.jp

〇お願い! [「Aipo」を活用しましょう](#)